園長だより

No.42 R8.3.2(Mon)

先生達からの日案(毎日の反省)で、異年齢交流のこ〜んなに温か〜なコメントがあったので、紹介させて下さい!!!

今日は朝の自由遊びの時に
Aちゃんが「爆弾ゲームやろう!」と言ってくれて、早く来た子たちでボールを転がして爆弾ゲームをやっていました。するとふじ組の○○くん、○○くん、○○くん、○○くん、○○ちゃんたちも「入れて〜!」と入ってきてくれました。「もも組さんもいるから優しく転がしてね!」と声を掛けると転がしてくれていました。だんだんもも組さんが別の遊びに行くとふじ組さんでドッジボールみたいに投げて当てるようになったのですが、Aちゃんはふじ組さんの中にもも組1人になるまで遊んでいました。ふじ組さん同士では思いきり投げていても、Aちゃんに当てる時は優しく投げてくれていたりとふじ組さんの優しさを感じました。Aちゃんがその中で遊び続けられることも嬉しかったです。

今日、朝登園してきた子たちと支度をしていると、ふじ組のA くんと B くんが、C ちゃん(ももぐみの)を迎えに来ました。その時、ももぐみの D くんと E ちゃんもいたのですが、2人ともいつも支度がゆっくりで、A くんと B くんに2人のお手伝いもお願いしました。すると、A くんは D くんの手をとって「シャル貼る所どこかなぁ?」と D くんの目線に合わせて話かけてくれていました。そして E ちゃんのことを手伝う時は、D くんに「ちょっと待ってね!」と言いながらいそいで E ちゃんの手伝いをしてくれていました。D くんと E ちゃん姉妹がちゃんと支度していて異年齢の良さとありがたさを身にしみて感じました。

子ども達の様子を目にし、いつも思う事はどんな事象も「体験」の大切さです!!

志都呂幼稚園では毎日異年齢で登園と同時に園庭で思いきり遊びます。その中では互いに順番を譲り合っていたり、ふじ組さんがしゃがんでもも組さんの目線に合わせて話しかけてくれたり!
ドッチボールでは、目の前に居るさくら組・もも組をさり気なく避けてくれていたり。ほんわか場面満載です!! さくら組・もも組さんは、そんな優しさに触れる毎日。それを見てつくづく思うのは「優しさ」「思いやり」は、受けてその温かさが身にしみてこそ自身の心に根付き、やがて相手に与えられるものだと思うんです。

子ども達の心に日々、そんな優しさ温かさがむくむく育ってくれている

(異年齢で関わる遊びの中で)

事が、分かりとっても嬉しく思います。そんな様子を保護者の皆様にもお裾分けしたくて!!

お読み頂き、いつもありがとうございます!